

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 人間関係とコミュニケーション | 「対話」のすすめ ①組織硬直化から脱しよう

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

「対話」のすすめ ①組織硬直化から脱しよう

組織は常に環境の中で生きています。環境は常に変化するので、それに合わせて組織も変わらなければなりません。ところが組織には変化を嫌う力が働きます。その「変えたくない力」が大きくなると、組織の硬直化が始まります。組織には必ずミッション（使命）があります。1945年、第2次世界大戦が終わり、日本の労働運動も平和憲法による保障の中で、大衆に根付いていきました。しかし極度のインフレや物資の不足の中での労働運動には実に厳しいものがありました。そんななかで現在の中央労福協の前身である「日本労働組合福祉対策中央協議会」が誕生しました。1950年9月のことです。結成に際して確認されたのは「福祉はひとつを合言葉にして労働者階級の相互扶助によって労働者福祉を追求していく」ということでした。そして労働金庫が、全労済が誕生していきます。そんな歴史を学ぶなかで1970年代の討議資料をみつけました。そこにはヨーロッパの労働者協同組合運動との違いについてこう書かれてありました。「その成り立ち上から、組合員の個々の創意と努力の上に運動を展開するという「大衆性」に留意する余裕がなかった。それが福祉活動に対する労働者の無関心を結果的に形づくると同時に、一定の限られた幹部の請負化をもたらしてしまった。そして福祉活動は単なる事業活動と化し、これを支える大衆的かつ自覚的基盤は情勢の緊迫化に立ち遅れてしまうのである」40年以上前の議論です。労働者個々人が自覚して運動に参加するという古くて新しい組織原則です。現在に至るまでその課題は解決されずに残っています。

組織がそのミッションを果たせなくなるときが、社会からレッドカードを切られるときです。組織変革とクチで言うのは易しいけれども並大抵の話ではありません。まずは組織をチェックしてみましょう。

組織の硬直化チェックシート

	症状	○	△	×
戦略・戦術の硬直化	意思決定が硬直化しており、決められたこと形態化しつつある			
	全員一歌や異議一致に固執しようとする傾向がある			
	慣行・慣例・前例・過去の成功を踏襲しようとする傾向が多い			
	リスクを取らうという気概が減ってきている			
業務・組織の硬直化	加減主義よりも減点主義がはびこっている			
	顧客を軽視し、脅威・問題・競争者を軽視する傾向にある			
	仕事の内容や手順が固定化し、無反省なまま自動的に継続されている			
	仕事の割り振りや役割分担が固定化している			
コミュニケーションの硬直化	専門性へ執着する人や優った個人気質を持つ人が多い			
	顧客セクト主義やなわばり意識がはびこっている			
	上司に権限や判断が集中していく傾向にある			
	即断即決で物事が決められず、議論や批判だけで実践がない			
組織・団士の硬直化	やたら内部資料づくりに傾けられている			
	仕事に関する命題が以前より減ってきた(またはなくなった)			
	会議やミーティングが硬直化し、形式的になっている			
	ネガティブな情報が伝わらなったり、歪められて伝わる			
意識・団士の硬直化	組織の外の情報や第一線の生情報の収集や活用が不十分である			
	市場や競合の動向など、組織外の情報に関する関心が薄れてきた			
	人の意見を聞かず、「言ってもムダ」「沈黙は合意である」という空気がある			
	組織内の革新活動への関心が低くなってきている			
	固いつけ「あきらめ」と消極姿勢が定着してきている			
	組織内に深層があり対立しているなど、エネルギーが内に向いてばかりいる			
	本筋から離れた余な仕事ばかりして、本来の目的がわからなくなっている			
	言わないことは避けて通り、責任を取らない、またはよを向いてしか仕事をしない			

教育カリキュラム

日本国憲法

傾聴

語り部スキル

▶ キーワード検索はこちら

異なる意見や異なる考え方を持つ人を排除したり、圧力をかけがらである			
○:よくあてはまる(4点)、△:一部あてはまる(2点)、×:全くあてはまらない(0点)			

出所:厚生省「組織変革ファシリテーター」

25点以下は健康、50点以下は経過観察、75点以下は薬治療、それ以上は緊急入院をして集中治療室に入ったほうがいい

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

▶ サイトマップ ▶ このサイトについて ▶ 個人情報保護の取組みについて

▶ ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.